

【特許請求の範囲】

【請求項1】 カバー部材を、小動物用ケージの後部をカバーする後部カバー片と、側部をカバーする二つの側部カバー片と、上部をカバーする上部カバー片であって、開閉自在な上部カバー片と、前部をカバーする前部カバー片であって、開閉自在な前部カバー片とで構成し、

前記両側部カバー片の前部上隅間及び前部下隅間に、各々それらの間を結合する弾性条材を配し、かつ前記後部カバー片の四辺、前記両側部カバー片の後辺を除く各辺、前記上部カバー片の両側辺、前記前部カバー片の両側辺に、それぞれ沿って各辺が縮小する方向の弾力性を備えた弾性部材を配し、更に前記上部カバー片及び前記前部カバー片の閉止状態を解除可能に保持する閉止保持手段を構成した小動物用ケージのカバー。

【請求項2】 前記両側部カバー片を各々前記後部カバー片の両側辺から延長して構成し、前記上部カバー片を前記後部カバー片の上辺から延長して構成し、前記前部カバー片を上記上部カバー片の前辺から延長して構成した請求項1の小動物用ケージのカバー。

【請求項3】 前記両側部カバー片を各々前記後部カバー片の両側辺から延長して構成し、前記上部カバー片を前記後部カバー片の上辺から延長して構成し、前記前部カバー片を、前記両側部カバー片の前部下隅間に配した弾性条材から延長して構成した請求項1の小動物用ケージのカバー。

【請求項4】 前記後部カバー片、前記両側部カバー片及び前記前部カバー片のそれぞれの上下方向途中から下部を好通気性部材で構成した請求項1、2又は3の小動物用ケージのカバー。

【請求項5】 前記両側部カバー片の上辺と後部カバー片の上辺との間に、それぞれ平面から見て三角形の底辺を構成する状態に弾性接続片を配した請求項1、2、3又は4の小動物用ケージのカバー。

【請求項6】 前記カバー部材を構成する後部カバー片、両側部カバー片、上部カバー片及び前部カバー片を消臭繊維で構成した請求項1、2、3、4又は5の小動物用ケージのカバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、各種の小鳥、うさぎ、ハムスター、モルモット、ラット又はフェレットその他の小動物を飼う際に用いる小動物用ケージを被覆する小動物用ケージのカバーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】この種の小動物は周囲の視線から隔離し、平穏で光を遮断した環境を与えることにより、ストレスを回避することができる。例えば、産後の小動物は周囲の音や光その他に過敏になっており、環境が静穏に

保持されないと、ときに育児が良好に進められず、自分の子供をかみ殺してしまう等の異常な行動をとることがある。

【0003】このような場合には、これらの小動物の飼育環境、即ち、ケージを適当なカバー部材で被覆することが良い結果をもたらす。また冷暖房による急激な温度変化は人の居室内で飼われる小動物に直ちに影響を与え、その体力を消耗させる重大な原因となっているが、このような場合にも、適当なカバー部材でケージを被覆することが、冷風又は温風の影響を減じ、温度の変化を緩和して小動物の体力消耗を防ぐことができる。

【0004】しかしながら現在までのところこのような趣旨で小動物用ケージを被覆するためのカバー部材は提供されていない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】したがって、本発明は、以上のような従来の問題点を解決し、ケージ中の小動物のストレスを回避し、平穏な環境を与え、かつ冷暖房等に起因する温度変化を緩和するために適当な小動物用ケージのカバーを提供することを解決の課題とする。

【0006】また取り扱いが容易であり、ケージ中の小動物に飼料や水を与える場合その他の必要に応じて、カバー部材全体をいちいち取り除かずに、ケージの前部、又は前部及び上部のみを開けることのできる小動物用ケージのカバーを提供することを解決の課題とする。

【0007】更にまたこれらの小動物用ケージは、小動物それ自体の体臭やそれらの糞尿その他に起因する異臭の発生源となっているが、これを被覆することによってこれらの異臭を除去し又は減少させることができる小動物用ケージのカバーを提供することを解決の課題とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】しかして本発明は、カバー部材を、小動物用ケージの後部をカバーする後部カバー片と、側部をカバーする二つの側部カバー片と、上部をカバーする上部カバー片であって、開閉自在な上部カバー片と、前部をカバーする前部カバー片であって、開閉自在な前部カバー片とで構成し、前記両側部カバー片の前部上隅間及び前部下隅間に、各々それらの間を結合する弾性条材を配し、かつ前記後部カバー片の四辺、前記両側部カバー片の後辺を除く各辺、前記上部カバー片の両側辺、前記前部カバー片の両側辺に、それぞれ沿って各辺が縮小する方向の弾力性を備えた弾性部材を配し、更に前記上部カバー片及び前記前部カバー片の閉止状態を解除可能に保持する閉止保持手段を構成した小動物用ケージのカバーである。

【0009】前記閉止保持手段は、前記上部カバー片及び前部カバー片の閉止状態をそれぞれ保持できるものであり、かつ必要に応じて保持状態を解除できるものであれば特定の構成に限定されない。なるべく簡易に着脱で

きるものが適当である。例えば、二つの対面結合する結合手段で構成し、それぞれを多数のフックを植立させたシート材に構成することができる。または一方の結合手段を多数のフックを植立させたシート材に構成し、他方の結合手段を多数のループを植立させたシート材に構成することができる。このように構成すれば、対面状態で相互を押し付ければ相互は結合し、強く引けば引き剥すことができる。これらを着脱すべき対面位置にそれぞれ固設しておけば、閉止状態を保持することができる。強く引けば剥れて閉止状態を解除することができる。

【0010】しかして本発明の小動物用ケージのカバーによれば、対応する寸法の直方体状のケージに、これを容易に被覆することができる。完全に開口状態の下部からケージに外装するのが適当である。ケージの上部に下部の開口部を外装した後、そのままその下部周囲がケージの底部周囲より若干下方になるまで引き下げれば被覆は完了である。

【0011】また、前記のように、前記両側部カバー片の前部上隅間及び前部下隅間に、各々それらの間を結合すべく弾性条材が配してあり、かつ前記後部カバー片の四辺、前記両側部カバー片の後辺を除く各辺、前記上部カバー片の両側辺、前記前部カバー片の両側辺に、それぞれ沿って、各辺が縮小する方向の弾性を備えた弾性部材を配してあるので、カバー部材はケージを抱えたような状態になり、その被覆状態がしっかりと保持される。更に、上記のように、上記各カバー片の辺が伸縮し得るので、一種の小動物用ケージのカバーで、各辺の最大伸長時と縮小時の範囲内のサイズの小動物用ケージの被覆を行なうことができる。

【0012】このように本発明の小動物用ケージのカバーでケージを被覆すれば、内部は光がかなりの程度遮断され、かつ音も若干遮断されることとなる。しかして内部は静穏な状態となり、この中で飼育されている小動物は、ストレスの少ない環境に保護されることとなり、前記した産後の小動物の育児に良い影響を与え、あるいは、安眠が確保されることとなる。また外部の急激な温度変化の影響を受けにくくなり、冷暖房による温度変化が緩和され、小動物の体力消耗を減じ、若しくは健康増進に資することができる。

【0013】飼料や水を与える場合や、その他の必要がある場合には、前部カバー片及び上部カバー片の一方又は双方を開けて、前部のみ又は前部及び上部を開けることができる。これは前記閉止保持手段の閉止保持状態を解除すれば簡単にできるものである。こうしてケージの前部又は上部の一方又は双方を無被覆の状態にすれば、ケージの前部又は上部のいずれかの位置に配してある扉を開けて、飼料や水を与え、あるいはその他の必要な処置を行なうことができる。これらの作業の終了後は、前記と逆の動作を行えば、ケージの上部及び前部を簡単に被覆することができる。

【0014】なお、前記のように、前記両側部カバー片の前部上隅間にその間を結合すべく配してある弾性条材及び特に両側部カバー片及び後部カバー片の各上辺に配してある弾性部材のそれぞれの作用により、前記前部カバー片及び前記上部カバー片の一方又は双方を開けた場合にも、カバー部材の上部がずり落ちるのが防止され、この小動物用ケージのカバーはケージへの良好な被覆状態が維持される。

【0015】以上の本発明の小動物用ケージのカバーに於いて、前記両側部カバー片を各々前記後部カバー片の両側辺から延長して構成し、前記上部カバー片を前記後部カバー片の上辺から延長して構成し、前記前部カバー片を上記上部カバー片の前辺から延長して構成した場合には、被覆してある小動物用ケージの前部を開けるには前部カバー片を開けるのみで良いが、上部を開ける場合は、前部カバー片及び上部カバー片の双方を同時に開けることとなる。前記閉止保持手段を前部カバー片にだけ設ければ良い利点がある。また開ける部分が一つだけになるのも取り扱い上好都合である。

【0016】前記両側部カバー片を各々前記後部カバー片の両側辺から延長して構成し、前記上部カバー片を前記後部カバー片の上辺から延長して構成し、前記前部カバー片を、前記両側部カバー片の前部下隅間に配した弾性条材から延長して構成した場合は、被覆してある小動物用ケージの前部を開けるには前部カバー片を開けるだけで良いし、上部を開けるには上部カバー片を開ければ良い。それぞれ個別に開けることができる利点がある。

【0017】前記後部カバー片、前記両側部カバー片及び前記前部カバー片のそれぞれの上下方向途中から下部を好通気性部材で構成した場合は、被覆した小動物用ケージへの通気性を高めることができるので、夏季等の暑い季節に、冷房のない部屋で飼われる場合等に好都合である。

【0018】前記両側部カバー片の上辺と後部カバー片の上辺との間に、それぞれ平面から見て三角形の底辺を構成する状態に弾性接続片を配した場合には、前記前部カバー片及び前記上部カバー片の一方又は双方を開けた場合にも、より良好に、カバー部材の上部がずり落ちるのが防止されることになる。

【0019】前記カバー部材を構成する後部カバー片、両側部カバー片、上部カバー片及び前部カバー片を消臭繊維で構成した場合は、小動物の体臭や糞尿その他に起因する異臭を除去し、周囲の環境を臭いの面で良好に保持することができる。前記消臭繊維としては、アンモニア臭等が吸着や分解、その他何らかの作用により除去されるものであれば、特定のそれに限定されない。最近、アセトアルデヒド、トリメチルアミン、メチルメルカプタン、エチルメルカプタン、ニコチン、酢酸等を分解できる消臭繊維が市販されている。このような消臭繊維を採用するのが適当である。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、発明の実施の形態を実施例に基づいて詳細に説明する。図1は実施例1を示す概略斜視図、図2は実施例2を示す概略斜視図、図3は実施例3を示す概略斜視図である。

【0021】（実施例1）実施例1は、図1に示すように、ケージの後部を被覆する後部カバー片1aと、ケージの両側を被覆する側部カバー片1b、1bと、ケージの上部を被覆する上部カバー片1cと、ケージの前部を被覆する前部カバー片1dとからなるカバー部材1を主

要構成要素とする。
【0022】以上のカバー部材1は、消臭繊維を素材として、前記両側部カバー片1b、1bを各々前記後部カバー片1aの側辺から前方に延長し、前記上部カバー片1cを前記後部カバー片1aの上辺から前方に延長し、更に前部カバー片1dを上記上部カバー片1cの前辺から下方に延長して、それぞれ一体に構成する。当然繊維製であるからいずれの部位でも容易に折曲できるものである。

【0023】上記カバー部材1中で、後部カバー片1aの四辺、両側部カバー片1b、1bの後辺を除く各辺、上部カバー片1cの両側辺、及び前部カバー片1dの両側辺に、それぞれ沿って紐状ゴム材（弾性部材）2を配する。いずれの辺の紐状ゴム材2も各辺が縮小する方向に作用するのは云うまでもない。なお実施例1では、紐状ゴム材2は、二重になった各カバー片の内部に縫い込んだ構成になっているが、各カバー片はその厚さの程度により一重で不都合なく、その場合は、各カバー片の裏面側に露出状態で縫い付けることとなる。

【0024】前記両側部カバー片1b、1bの前部上隅x、x間及び前部下隅y、y間には、図1に示すように、各々それらの間を結合する弾性ベルト（弾性条材）3、3を配する。上記弾性ベルト3、3はゴム紐を利用し、その両端を上記各部位に縫い付けて固定したものである。

【0025】また、図1に示すように、前記両側部カバー片1b、1bの上辺と後部カバー片1aの上辺との間には、それぞれ平面から見て三角形の底辺を構成する状態に弾性ゴム片（弾性接続片）4、4を配する。上記弾性ゴム片4、4もまたゴム紐を利用し、両端を、上記各部位に縫い付けて固定したものである。

【0026】更にまた前記前部カバー片1dの前部下隅の内面z、zには結合部5a、5aを設け、前記両側部カバー片1b、1bの前部下隅y、yの外面には上記結合部5a、5aと対応させて結合部5b、5bを設ける。各結合部5aはシート材に多数のフックを植立させた構成を採用し、他方の各結合部5bは、シート材に多数のループを植立させた構成を採用した。しかして結合部5aと結合部5bとは相互に押し当てれば結合し、強く引けば引き剥すことができるものである。これらの結

合部5a、5bは対になって閉止保持手段を構成するものである。

【0027】しかして実施例1の小動物用ケージのカバーによれば、対応する寸法の直方体状のケージに、これを容易に被覆することができる。完全に開口しているカバーの下部からケージに外装するのが適当である。ケージの上部に下部の開口部を外装したら、そのままその下部周囲がケージの底部周囲より若干下方になるまで引き下げれば被覆は完了である。

【0028】前記両側部カバー片1b、1bの前部上隅x、x間及び前部下隅y、y間にそれぞれ配した弾性ベルト3、3と、特に側部カバー片1b、1b及び後部カバー片1aの各辺に沿って配した紐状ゴム材2、2…とにより、ケージはしっかりと抱えられるようになり、上記ケージの被覆状態は良好に保持される。またこのように弾性ベルト3、3が配してあり、かつ紐状ゴム材2、2…が配してあるので、最大にそれらが伸びた状態以下のある程度の範囲のサイズのケージの被覆には対応できるものである。

【0029】このように実施例1の小動物用ケージのカバーでケージを被覆すれば、内部は光がかなりの程度遮断され、かつ音も若干遮断されることとなる。しかしてケージ内部は静穏な状態となり、この中で飼育されている小動物は、ストレスの少ない環境に保持されることとなり、前記した産後の小動物の育児等の良い影響を与え、あるいは、安眠が確保されることとなる。またケージの底部以外の部分がカバー部材1で被覆されることにより、外部の温度変化の影響を受けにくくなり、例えば、ケージの配された室内に冷暖房装置の運転にともなう急激な温度変化が生じても、ケージ内の温度変化は緩和され、小動物の体力の消耗を最小限に抑えられ、あるいは、適切な温度範囲に保持できることにより、健康増進に資することもできる。

【0030】飼料や水を与える場合、その他の必要がある場合には、前部カバー片1dのみを開け、又は前部カバー片1d及び上部カバー片1cを開けて、前部のみ又は前部及び上部を同時に開けることができる。これは前記結合部5a、5aを他方の結合部5b、5bから引き剥すことにより簡単にできるものである。

【0031】こうしてケージの前部、又は前部及び上部を無被覆の状態にすれば、ケージのいずれかの位置に配してある扉を開けて、飼料や水を与え、あるいはその他の必要な処置を行なうことができる。これらの作業の終了後は、前記と逆の動作を行なえば、ケージの上部及び前部をまた容易に被覆することができる。

【0032】なお、前記のように、前記両側部カバー片1b、1bの前部上隅x、x間及び前部下隅y、y間にそれぞれ弾性ベルト3、3が配してあり、かつ前記両側部カバー片1b、1bの上辺と後部カバー片1aの上辺との間に、それぞれ平面から見て三角形の底辺を構成す

る状態に弾性ゴム片4、4が配してあるので、前記前部カバー片1d、又は前部カバー片1d及び上部カバー片1cを開けても、この小動物用ケージのカバーは、それらの弾性ゴム片4、4及び弾性ベルト3、3により上方の位置が保持され、ずり落ちることがないので、ケージの良好な被覆状態を保持する。

【0033】また前記カバー部材1は、前記のように、消臭繊維で構成したので、小動物の体臭や糞尿その他に起因する異臭を除去し、周囲の環境を臭いの面で良好に保持することができる。

【0034】(実施例2)図2に示すように、実施例2は、実施例1のカバー部材1をカバー部材11に置き換えたものであり、他の点は実施例1と全く同様である。実施例2のカバー部材11の実施例1のそれとの違いは、後部カバー片11a、両側部カバー片11b、11b及び前部カバー片11dの上下方向半ばより下方に各々網状通気部nが構成してあることである。その他の点は、実施例1と同様であり、同様の構成要素は同一の符号で示してある。

【0035】したがって実施例2の小動物用ケージのカバーによれば、被覆した小動物用ケージへの通気性を高めることができ、夏季等の暑い季節に、冷房のない部屋で小動物を飼育する場合等に好都合である。網状通気部n、n…の故に外部からの音が若干入りやすくなり、光も入射し易くなり、かつ温度の変化の影響も受け易くはなるが、それらについても程度の問題であり、概ね実施例1と同様の作用効果を有する。その他の点は全く実施例1と同様である。

【0036】(実施例3)図3に示すように、実施例3は、実施例1のカバー部材1をカバー部材21に置き換えたものであり、他の点は実施例1と全く同様である。実施例3のカバー部材21の実施例1のそれとの違いは、前部カバー片21dを上部カバー片21cの前端から延長するのではなく、両側部カバー片21b、21bの前部下隅y、y間に配した弾性ベルト3から上方に立ち上げ状態に配した点である。

【0037】もっとも上記違いに対応して、実施例1と同様の構成の結合部25aを各々前部カバー片25dの上辺両隅の内面、及び上部カバー片21cの前辺両隅の内面に構成し、かつ前記両側部カバー片21b、21bの上辺両隅外面に対応する結合部25bをそれぞれ配する。結合部25aと結合部25bとは対面圧接すると前記結合部5aと結合部5bのように結合する。強く引けば引き剥すことができる。結合部25bを結合部25aのほぼ2倍の面積に構成し、不都合なく両者が結合できるようにしてある。その他の点は、実施例1と全く同様であり、同様の構成要素は同一の符号で示してある。

【0038】したがって実施例3の小動物用ケージのカバーによれば、被覆してある小動物用ケージの前部を開けるには前部カバー片21dを開けるだけで良いし、上

部を開けるには上部カバー片21cを開ければ良い。それぞれ個別に開けることができる利点がある。これ以外の点は、実施例1と全く同様であり、全く同様の作用効果を有する。

【0039】

【発明の効果】しかして本発明の小動物用ケージのカバーによれば、対応する寸法の直方体状のケージに、これを容易に被覆することができる。

【0040】また前記両側部カバー片の前部上隅間及び前部下隅間に、各々それらの間を結合する弾性条材が配してあり、かつ前記後部カバー片の四辺、前記両側部カバー片の後辺を除く各辺、前記上部カバー片の両側辺、前記前部カバー片の両側辺に、それぞれ沿って、各辺が縮小する方向の弾性を備えた弾性部材を配してあるので、カバー部材はケージを抱えたような状態になり、その被覆状態がしっかりと保持される。

【0041】更に、上記のように、上記各カバー片の辺が伸縮し得るので、一種の小動物用ケージのカバーで、各辺の最大伸長時と縮小時の範囲内のサイズの小動物用ケージの被覆を行なうことができる。

【0042】このように本発明の小動物用ケージのカバーでケージを被覆すれば、内部は光がかなりの程度遮断され、かつ音も若干遮断されることとなる。しかして内部は静穏な状態となり、この中で飼育されている小動物は、ストレスの少ない環境に保護されることとなり、前記した産後の小動物の育児に良い影響を与え、あるいは、安眠が確保されることとなる。また外部の急激な温度変化の影響を受けにくくなり、冷暖房による温度変化が緩和され、小動物の体力消耗を減じ、若しくは健康増進に資することができる。

【0043】飼料や水を与える場合や、その他の必要がある場合には、前部カバー片及び上部カバー片の一方又は双方を開けて、前部のみ又は前部及び上部を開けることができる。

【0044】なお前記両側部カバー片の前部上隅間にその間を結合すべく配してある弾性条材及び特に両側部カバー片及び後部カバー片の各上辺に配してある弾性部材のそれぞれの作用により、前記前部カバー片及び前記上部カバー片の一方又は双方を開けた場合にも、カバー部材の上部がずり落ちるのが防止され、この小動物用ケージのカバーはケージへの良好な被覆状態が維持される。

【0045】以上の本発明の小動物用ケージのカバーに於いて、前記両側部カバー片を各々前記後部カバー片の両側辺から延長して構成し、前記上部カバー片を前記後部カバー片の上辺から延長して構成し、前記前部カバー片を上記上部カバー片の前辺から延長して構成した場合には、被覆してある小動物用ケージの前部を開けるには前部カバー片を開けるのみで良いが、上部を開ける場合は、前部カバー片及び上部カバー片の双方を同時に開けることとなる。前記閉止保持手段を前部カバー片にだけ

設ければ良い利点がある。また開ける部分が一つだけになるのも取り扱い上好都合である。

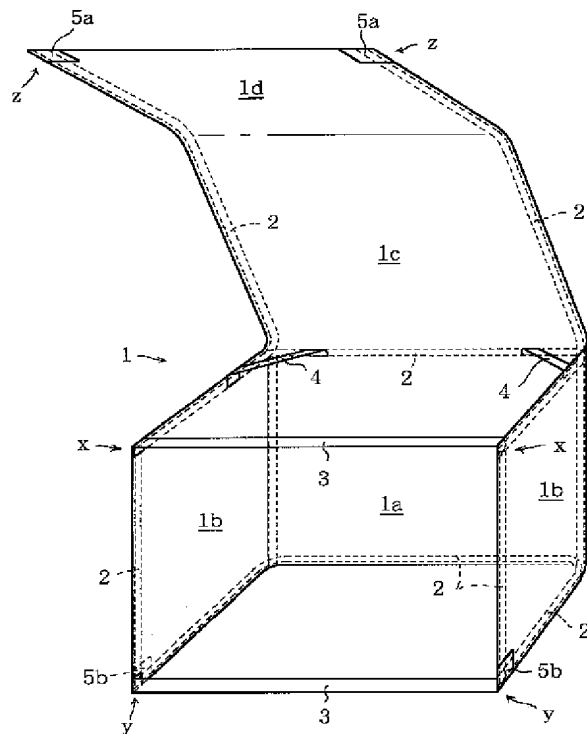
【００４６】前記両側部カバー片を各々前記後部カバー片の両側辺から延長して構成し、前記上部カバー片を前記後部カバー片の上辺から延長して構成し、前記前部カバー片を、前記両側部カバー片の前部下隅間に配した弾性条材から延長して構成した場合は、被覆してある小動物用ケージの前部を開けるには前部カバー片を開けるだけで良いし、上部を開けるには上部カバー片を開ければ良い。それぞれ個別に開けることができる利点がある。

【〇〇４７】前記後部カバー片、前記両側部カバー片及び前記前部カバー片のそれぞれの上下方向途中から下部を好通気性部材で構成した場合は、被覆した小動物用ケージへの通気性を高めることができるので、夏季等の暑い季節に冷房のない部屋で小動物を飼う場合等に好都合である。

【0048】前記両側部カバー片の上辺と後部カバー片の上辺との間に、それぞれ平面から見て三角形の底辺を構成する状態に弾性接続片を配した場合には、前記前部カバー片及び前記上部カバー片の一方又は双方を開けた場合にも、より良好に、カバー部材の上部がずり落ちるのを防止することができる。

【００４９】前記カバー部材を構成する後部カバー片、

【义1】



10

両側部カバー片、上部カバー片及び前部カバー片を消臭繊維で構成した場合は、小動物の体臭や糞尿その他に起因する異臭を除去し、周囲の環境を臭いの面で良好に保持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例1を示す概略斜視図。

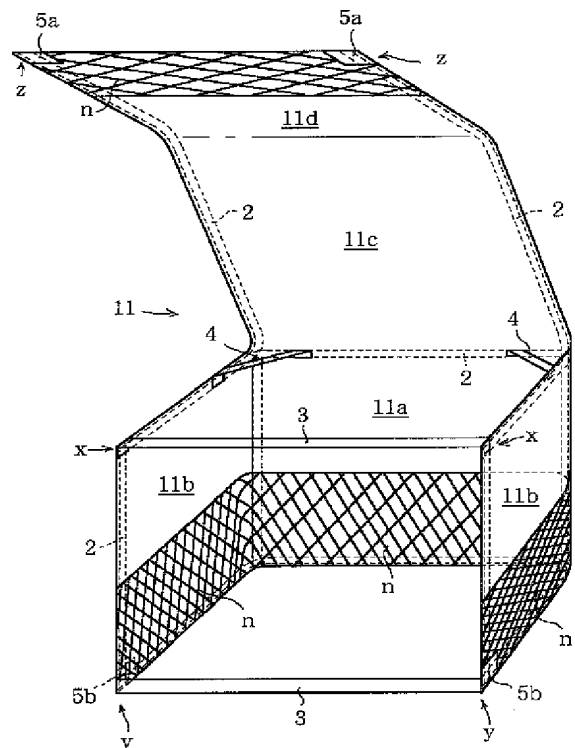
【図2】実施例2を示す概略斜視図。

【図3】実施例3を示す概略斜視図。

【符号の説明】

- | | |
|-----------------|---------|
| 1、1 1、2 1 | カバー部材 |
| 1 a、1 1 a、2 1 a | 後部カバー片 |
| 1 b、1 1 b、2 1 b | 側部カバー片 |
| 1 c、1 1 c、2 1 c | 上部カバー片 |
| 1 d、1 1 d、2 1 d | 前部カバー片 |
| 2 | 紐状ゴム材 |
| 3 | 弾性ベルト |
| 4 | 弾性ゴム片 |
| 5 a、2 5 a | 結合部 |
| 5 b、2 5 b | 結合部 |
| x | 前部上隅 |
| y | 前部下隅 |
| z | 前部下隅の内面 |

【例2】



PAT-NO: JP410323139A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10323139 A
TITLE: COVER FOR SMALL ANIMAL'S CAGE
PUBN-DATE: December 8, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SATO, AKIRA	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HITACHI KAKO KK	N/A

APPL-NO: JP09150387
APPL-DATE: May 23, 1997

INT-CL (IPC): A01K001/03 , A01K001/035

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the subject cover capable of holding the inside of the cage in a quiet environment with a little temperature variation and removing bad odor within the cage.

SOLUTION: This cover member 1 comprises a rear cover piece 1a covering the rear part of a cage, side cover pieces 1b covering the both side parts of the cage, a upper cover piece 1c covering the upper part of the cage, and a front cover piece 1d covering the front part of the cage, each cover piece being made from deodorizing fabric. Straplike rubber members 2 are disposed along each edge of

the cover pieces except the front edge of the upper cover piece and front and rear edges of the front cover piece. Elastic belts 3 are each disposed between the respective front and upper corners X of the both side cover pieces 1b and between the respective front and lower corners Y thereof. Elastic rubber pieces 4 are arranged between each upper edge of the both side cover pieces 1b and the upper edge of the rear cover piece 1a. There are formed connecting parts 5a on each front and lower corner Z of the front cover piece 1b and connecting parts 5b on each front and lower corner Y of the both side cover pieces 1b.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO